

平成 26 年 3 月 13 日

土木学会 舗装工学委員会

「舗装教育小委員会」 再募集趣意書

1. 再募集の目的

現在の高度な舗装技術を継承し発展させていくためには、次世代を担う人材の確保と新人教育が不可欠である。わが国には、舗装に関する優れた専門書は多いが、それを理解するために必要な基本的な知識を得るための教科書は少ない。さらに、大学、高専などの教育機関では、舗装に関する知識を得るためのカリキュラムは削減されており、専門とする教員も減少の一途をたどっている。

このような状況を鑑み、平成 17 年 9 月に「舗装教育小委員会」を設置し、平成 24 年 3 月に舗装工学ライブラリー7「舗装工学の基礎」を出版するに至った。しかし今後も「舗装工学の基礎」に対する補完が必要であり、教育は継続されることが重要であるとの考えのもと、新たな活動を視野に入れて、委員を再募集し「舗装教育小委員会」を継続したい。

【舗装教育小委員会における主な活動結果】

- ・平成 17 年 9 月 20 日 小委員会設置（お伺い）を調査研究部門へ提出
- ・平成 17 年 10 月 31 日 第一回小委員会開催
- ・平成 19 年 9 月 12 日 年次学術講演会 研究討論会担当（広島大学）
- ・平成 24 年 3 月 30 日 舗装工学ライブラリー7「舗装工学の基礎」出版（3,990 円 605 冊）
- ・平成 24 年 11 月 9、16、30 日 講習会開催（札幌・東京・大阪 114 名参加 69 冊販売）
- ・平成 24 年 12 月 20 日 舗装工学の基礎 増刷（530 冊）
- ・平成 25 年 活動なし

【再募集後の委員会における実施事項（案）】

- ① 「舗装工学の基礎」の新版を作成する
最近の技術動向を入れ込む：維持修繕，基準類など
- ② 対象や項目を絞った副教材を作成する
対象：発注官庁，学校，舗装会社の社員教育
項目：最近の技術，歴史，機械，リサイクル，計算問題集
- ③ 次世代の人材育成のあり方を考える
人材の確保（学生，新卒者，研究者）を考える
次世代の舗装技術者の育成を考える
道路利用者への舗装のアピールを考える

2. 活動予定期間、再募集方法 等

- ・平成 26 年度から 3 年間
- ・委員会名は「舗装教育小委員会」のままとし，変更しない
- ・委員の構成

委員長 ：西澤辰男（石川工業高等専門学校）

幹事長 ：田口 仁（福田道路株式会社）

※舗装工学委員会での承認後，委員を再募集する

※上記の再募集時の委員長と幹事長は 1 年を目途に交代する

以上